

## WHO-FIC ネットワーク年次会議（2019 年、2020 年）の報告

○ WHO-FIC ネットワーク年次会議（2019 年カナダ）

開催期間 : 令和 1（2019）年 10 月 5 日（土）～11 日（金）  
 会場 : バンフ芸術及び創造性センター（バンフ、カナダ）

○ WHO-FIC ネットワーク年次会議（2020 年オンライン開催）

開催期間 : 令和 2（2020）年 10 月 19 日（月）～23 日（金）  
 ホスト : WHO 本部（ジュネーブ）

参加者 : WHO、各 WHO 国際統計分類協力センター、各国政府厚生・統計関係部局、NGO、オブザーバー等

## 【主な議論及び報告内容】

1. WHO-FIC ネットワーク年次会議（2019 年カナダ）○ ICD-11 の改正プロセス

- ・2019 年 5 月に ICD-11 が世界保健総会（WHA）で採択されて以降初の年次会議となった。ICD-11 の維持プロセスとして、昨年組織された分類・統計諮問委員会（CSAC）において ICD-11 プラットフォームを通じて提出された提案の投票が開始された。
- ・ICD の維持管理（改訂・改正）の主体について、従来、WHO 国際統計分類協力センターネットワークが中心となって行っているが、必ずしも国の機関が各センターに参加しているとは限らないため、ICD-11 採択に向けた議論の中で疑義が生じていたところ、今般の年次会議において、改めて ICD の維持管理に WHO 加盟国が関与しうるとの認識が共有され、これを明確にする方法等について議論が行われた。
- ・また、具体的な改正プロセスについて、ICD に関する改正提案（プロポーザル）が多数届いており、レビューをよりシステムティックに実施する必要があるため、テンプレートの作成等について議論された。

○ ICD-11 の各種ツール

- ・ICD-11 の各種ツールの開発は順調に進んでおり、ICD-11 ブラウザ、コーディング・ツール、ファウンデーションなどの機能と開発の状況について解説があった。コーディング・ツールの検索結果として単一のコード・分類だけでなく、複数のコードの組み合わせが返されるといった機能拡張（subset searching、post-coordination combination results）の開発を行っていること、ICD-API については、ICD-API version 2 がリリースされたこと等が紹介された。

○ ICHI

- ・現行の ICHI のアップデートが行われたほか、フィールドテストを実施した結果の問題点を踏まえた、ICHI 分類の問題について議論があった。分析を踏まえて ICHI  $\beta$  3 の構築を実施していると報告された。

○ICF

- ・ ICF の改訂に取り組んでおり、ICF2020 として、次回の WHO-FIC 年次会議で発表する予定であること、また EIC（教育普及委員会）と共同で ICD-11 V 章の開発に取り組んでいるほか、WHODAS トレーニングツールの開発や、WHO KIDDAS の開発にも取り組んでいることが報告された。

○伝統医学 (TM)

- ・ ICD-FiT を踏まえて伝統医学に関する補助章や ICD-11 の他の章のコーディングの実用性について検討された。

2. WHO-FIC ネットワーク年次会議（2020 年オンライン開催）

○初のオンライン開催

- ・ 当初タイ・バンコクでの開催が予定されていたが、COVID-19 の流行を受けて、WHO-FIC 史上初のオンライン開催となった。概ね順調な議事進行がなされたが、一部のセッションにおいて議長やプレゼンター等が参加できない不具合が発生した。
- ・ また、時差により、アメリカ大陸では早朝、オーストラリア大陸では深夜の開催となり、WHO からの要請にもかかわらず、日中の業務から完全に離れることができない参加者もあり、今後への課題とされた。

○議長選挙

- ・ ネットワークの委員会・レファレンスグループの議長選挙（隔年、任期 2 年）が実施され、結果は以下の表のとおり。

委員会・グループ名	共同議長
カOUNシル Council	Donna Picket（米 CC） Ulrich Vogel（独 CC）
教育普及委員会 EIC Education and Implementation Committee	Sharon Baker（加 CC） Carlos Guevel（アルゼンチン CC）
国際分類ファミリー拡張委員会 FDC Family Development Committee	Coen Van Gool（蘭 CC） Ann-Helene Almborg（北欧 CC）
情報科学用語委員会 ITC Informatics and Terminology Committee	Samson Tu（CTS CC） Anupama Ginige（豪 cc）
分類・統計諮問委員会 CSAC Classification and Statistics Advisory Committee	ICD: Meng Zhang（中 CC） ICF: Marie Cuenot（フランス CC）
医学・科学諮問委委員会 MSAC Medical and Scientific Advisory Committee	Chris Chute Rolf-Detlef Treede
死因分類グループ MRG Mortality Reference Group	Robert Anderson（米 CC） James Eynstone-Hinkins（豪 CC）
疾病分類グループ MbRG Morbidity Reference Group	Miroslav Zvolosky（チェコ CC） Keith Denny（加 CC）
生活機能分類グループ FDRG Functioning and Disability Reference Group	Thomas Maribo（北欧 CC） Andrea Martinuzzi（伊 CC）
伝統医学グループ TMRG Traditional Medicine Reference Group	渡辺賢治（日本 CC） Dou Danbo（中 CC）

※CC：WHO-FIC 協力センター

※CTS CC：分類・用語・標準協力センター

### ○ICD-11 プラットフォーム及び各種ツール

- ・ ICD-11 の技術とツール環境について、WHO からプレゼンテーションがあり、iCAT を利用した ICF と ICHI を ICD-11 と共通のプラットフォーム（ファウンデーション）へ統合する作業が行われ、継続的に実施されていること、ICD-11 改正提案システムにおいてポストコーディネーションに対する提案が可能となったこと、翻訳プラットフォームにおける進捗（アラビア語、スペイン語、中国語が公開済み）、Docker を利用した地域展開ツールの提供など、様々なアップデートが紹介された。
- ・ また、埋め込まれた ICD-11 のコーディング・ツール（Embedded Coding Tool）がどのようにしてウェブアプリケーションの中に取り込まれるのかについてデモンストレーションが行われ、ICD-API を通じて最小限のプログラミングによりコーディング・ツールが利用可能であることが紹介された。
- ・ その他、ジョーンズホプキンス大学のクリス・シュート氏から、HPO（Human Phenotype Ontology）の中で行われている開発と ICD との連結可能なリンクについてプレゼンテーションがあった。

### ○死亡コーディング・ルール

- ・ ICD-11 のレファレンス・ガイドの死亡コーディング・ルールがとりまとめられ、WHO 事務局に提出されたことが報告された。但し、妊産婦死亡、周産期死亡の定義及びコーディングについては、2020 年に入り新たな提案があったこともあり、引き続き検討を続けることとされ、翻訳に当たっては留意するよう求められた。

### ○WHO-FIC の分類の統合利用

- ・ ICD-11、ICHI、ICF が共通のプラットフォームに載り、実際に複合的に使用（Integrated use）する方法やケースミックスにおける利用、これらに対するツールの側面からの支援についての議論が開始されている。

### ○ICF

- ・ ICF2020 が公表されたほか、ICF が ICD-11 と共通のプラットフォームに移行され、今後は、ICF 改正提案の採択、翻訳等は、ICD と同様のシステムで行っていく予定となると報告された。

### ○伝統医学

- ・ WHO アカデミー向けの伝統医学のコーディングに関する訓練プログラム開発を行っていることが報告され、各国の訓練プログラムとの調和、協力が求められた。
- ・ モジュール 2 として、アーユルベータ、シッタ及びユナニの分類の開発が開始され、2020 年 2 月にニューデリーで発足会が開催された旨の報告があった。

### ○WHO アカデミー

- ・ WHO の訓練センターが提供する WHO アカデミー（拠点：リヨン）のプログラムに ICD-11 が採用されたとの報告があり、基礎コースのほか、コーディング（死亡・疾病コーディング）、実施・分析（データ分析ソフトウェアへの API 統合）など詳細コースも用意する予定である旨の紹介があった。2021 年 5 月に正式公開となる予定。